



災害情報の取得方法と避難行動の意向 — 一定量調査より年代間の差異に着目して —

目的

災害情報の取得方法の違いから避難行動の実行の有無に違いが生じるか明らかにする

前提

- ・想定する災害「大雨・台風」
- ・避難行動となる情報 自治体等から出される避難指示
なお避難行動の種類については本稿では分析対象としない

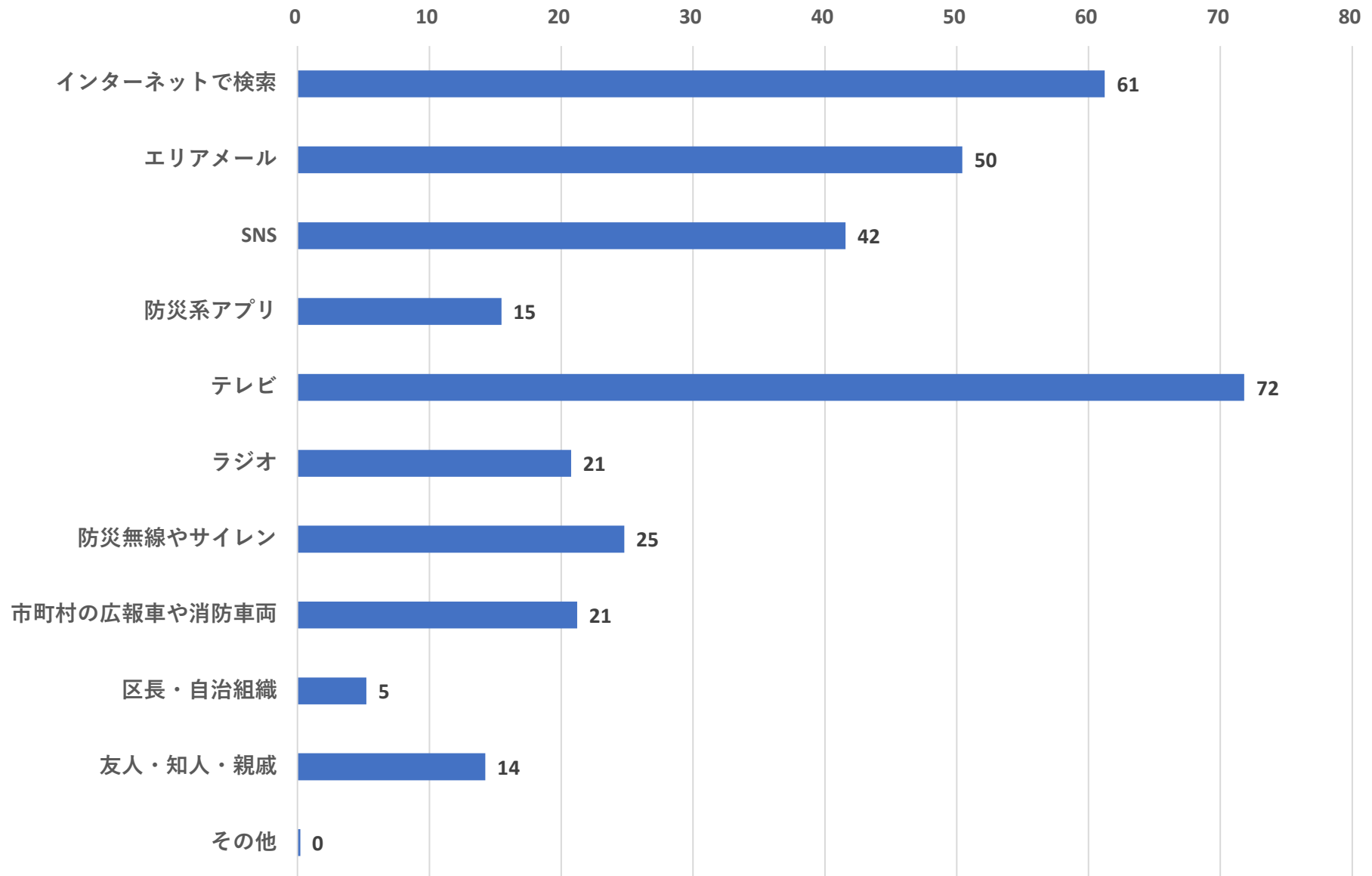
分析の流れ

- ①大雨・台風を想定した場合の災害取得方法について、類型化（因子・クラスタ分析）をおこない、特性を確認する
- ②避難行動の実行有無について、特性を確認する
- ③①②の結果をクロスし、目的の検証をおこなう

調査概要

調査時期	2021.10
調査方法	web調査法
調査対象	全国 15歳～79歳の男女
割付	性別・年齢・都道府県
サンプル数	9,072

2-1.大雨・台風時の災害情報取得方法



回転後の因子行列^a

	因子			
	ICT	人伝	公的	テレビ
エリアメール	0.49	0.04	0.10	-0.04
防災アプリ	0.35	0.11	0.12	-0.03
情報検索	0.31	0.06	0.03	0.09
ラジオ	0.21	0.18	0.11	0.11
友人・知人・親戚	0.14	0.52	0.10	-0.04
区長・自治組織	0.05	0.44	0.24	-0.02
市町村の広報車や消防車両	0.19	0.37	0.60	0.13
防災無線やサイレン	0.31	0.25	0.44	0.08
テレビ	0.35	0.17	-0.05	0.57
SNS	0.05	0.06	-0.07	-0.27

因子抽出法：主因子法

回転法：Kaiser の正規化を伴うバリマックス法

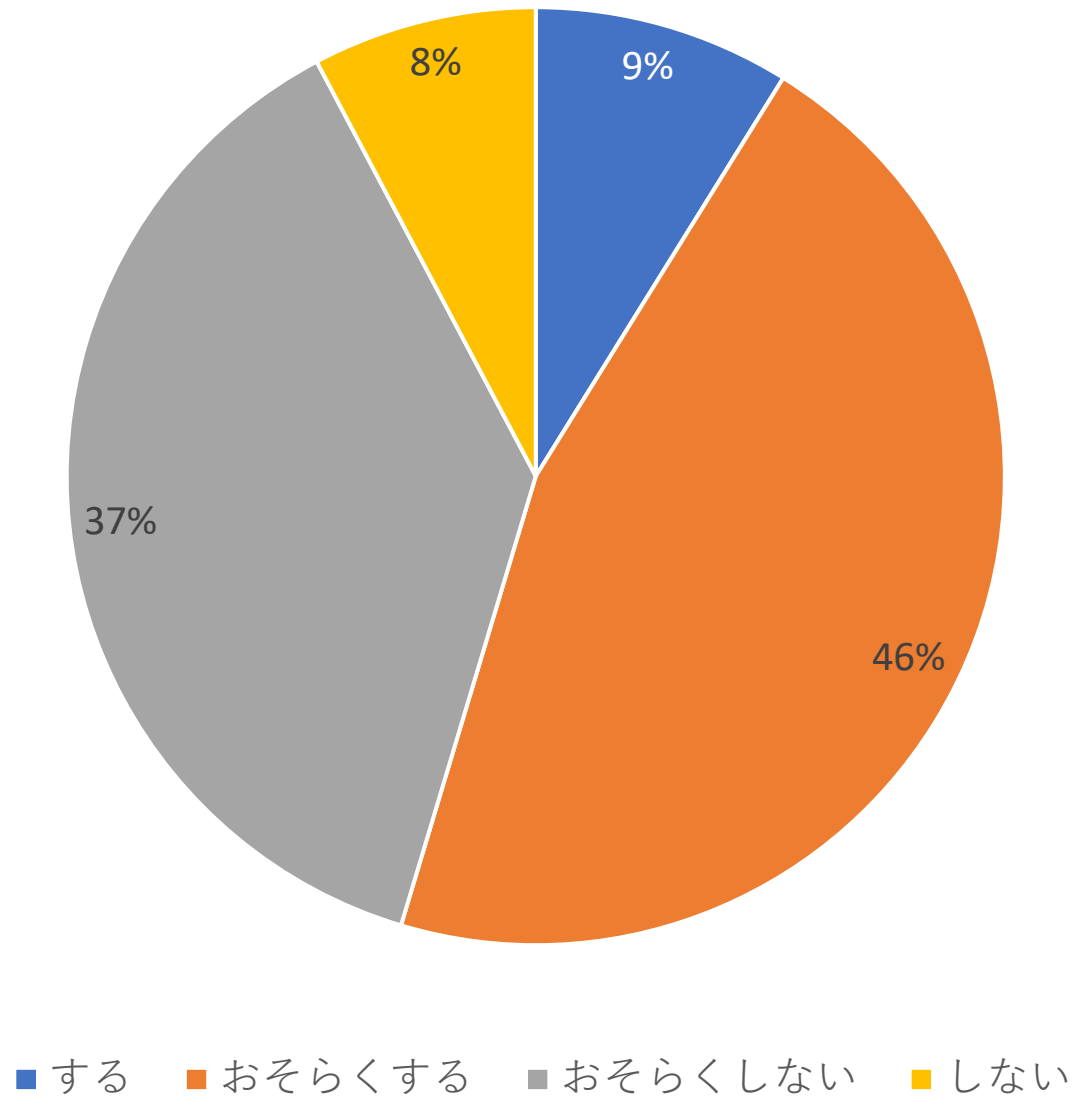
a. 7 回の反復で回転が収束しました。

		マルチ（テ レビ低）	マルチ（人 伝低い）	ICT	人伝・公的	テレビ	消極
因子	ICT	0.5	0.4	0.6	-0.3	-0.3	-0.6
	人伝	1.6	0.1	-0.1	0.4	-0.1	-0.4
	公的	1.0	1.1	-0.4	1.5	-0.5	-0.1
	テレビ	0.1	0.6	0.2	-0.8	0.5	-0.9
サンプル数		759	979	2393	253	2408	2280
構成比		8%	11%	26%	3%	27%	25%

「消極派」若年層が高く、シニア層が低い 男性が高く、女性は低い

		マルチ（テレビ低）	マルチ（人伝低）	ICT	人伝・公的	テレビ	消極
年代	10代	-1.62	-5.03	-1.53	-1.63	0.50	6.30
	20代	-4.64	-6.62	-4.51	-2.09	-1.40	14.50
	30代	-3.81	-5.10	0.44	-0.98	-1.74	7.78
	40代	-1.94	-4.09	4.19	0.02	-2.09	2.03
	50代	-2.33	2.52	3.99	-1.02	-0.78	-3.19
	60代	-0.19	5.66	2.98	0.25	2.49	-9.58
	70代	13.47	10.31	-6.66	4.67	3.13	-14.16
性別	男性	-6.50	-2.25	-2.52	-3.05	0.74	8.73
	女性	6.50	2.25	2.52	3.05	-0.74	-8.73

■ >0.05 有意に高い ■ >0.05 有意に低い



10・70代が避難行動をおこなう割合が高い

		する	おそらくする	おそらくしない	しない
年代	10代	4.58	2.07	-4.11	-1.28
	20代	-0.22	1.87	-2.20	0.73
	30代	-1.22	-1.74	1.46	1.90
	40代	-1.70	-1.57	2.91	-0.55
	50代	-1.50	-0.60	1.41	0.17
	60代	-0.88	-0.59	1.18	-0.10
	70代	2.59	1.45	-2.38	-1.15
性別	男性	0.99	-2.04	-1.80	6.02
	女性	-0.99	2.04	1.80	-6.02

■ >0.05 有意に高い ■ >0.05 有意に低い

複数の組合せで取得する人は行動をおこなう傾向
 テレビ単独或いは消極の人は行動をおこなわない傾向

		クラスタ 大雨 情報					
		マルチ（テレビ低）	マルチ（人伝低）	ICT	人伝・公的	テレビ	消極
する	度数	105	115	211	30	177	165
	調整済み残差	5.0	3.4	-0.1	1.7	-3.0	-3.1
おそらくする	度数	438	508	1128	127	1007	946
	調整済み残差	6.9	4.1	1.5	1.4	-4.6	-4.8
おそらくしない	度数	203	321	937	87	1022	843
	調整済み残差	-6.5	-3.3	1.8	-1.1	5.7	-0.7
しない	度数	13	35	117	9	202	326
	調整済み残差	-6.5	-5.2	-6.1	-2.5	1.4	13.5

■ >0.05 有意に高い ■ >0.05 有意に低い

シニア層の方がより極端な結果

10-20代	する	おそらくする	おそらくしない	しない
マルチ（テレビ低）	2.20	-0.10	0.29	-2.85
マルチ（人伝低）	0.41	2.11	-0.97	-2.72
ICT	0.72	1.55	-0.77	-2.36
人伝・公的	0.45	1.03	-1.25	-0.25
テレビ	0.14	-0.27	1.13	-1.64
消極	-2.04	-2.22	0.28	6.03
60-70代	する	おそらくする	おそらくしない	しない
マルチ（テレビ低）	2.66	5.93	-5.41	-4.31
マルチ（人伝低）	1.74	2.23	-2.06	-2.40
ICT	0.36	-0.48	1.60	-2.44
人伝・公的	1.57	0.30	-0.05	-2.24
テレビ	-3.44	-3.80	4.46	2.87
消極	-1.27	-2.80	-0.40	7.52

■ >0.05 有意に高い ■ >0.05 有意に低い

アイテム名	レンジ		偏相関係数	
エリア	1.937	1位	0.150	1位
災害への備え	0.875	5位	0.117	2位
近所付き合い	1.107	2位	0.115	3位
情報取得方法	0.943	4位	0.092	4位
年代	1.009	3位	0.089	5位
結社	0.633	6位	0.073	6位
ICT利活用	0.426	8位	0.044	7位
ペット	0.493	7位	0.043	8位
情報欲求	0.308	9位	0.040	9位
被災経験	0.109	10位	0.017	10位
テレビ頻度	0.097	11位	0.011	11位
性	0.002	12位	0.000	12位

アイテム名	レンジ		偏相関係数	
エリア	2.049	1位	0.171	1位
情報取得方法	0.973	3位	0.120	2位
災害への備え	0.941	4位	0.119	3位
結社	1.164	2位	0.116	4位
近所付き合い	0.522	7位	0.071	5位
ICT利活用	0.651	6位	0.068	6位
ペット	0.795	5位	0.060	7位
情報欲求	0.277	9位	0.045	8位
性	0.199	10位	0.035	9位
テレビ頻度	0.317	8位	0.022	10位
被災経験	0.026	11位	0.005	11位

結果

複数の方法で情報取得を行っている人が避難行動を実施する割合が高い傾向

- ・複数の方法で情報取得する人は「防災意識（日頃の備えや知識）」が高い
- ・年代間に差異が見られ、特にシニア層は情報取得方法により、避難行動に違いが見られる